

# 絆

## —卒業生の今—

小学部を巣立ち、様々なステージで活躍される先輩方をご紹介します連載企画。

どんな時も温かく見守ってくださる先生方や友人と小学部で過ごした日々が、今につながっているようです。



切り絵作家・デザイナー  
石黒貴子(タンタン)さん  
(1990年小学部卒業)

### ● Profile

小学部から中等部まで東洋英和で過ごし、高等部の途中でアメリカ留学。帰国後、タンタンとして切り絵活動を開始。「切り絵工房「鳥・花編」」高橋書店より出版、New York Art Directors Club・

「日図展」・「京都デザイン賞」等に入選、minne × human academy Crystal Decoration 大賞部門賞受賞、現在は高島屋や阪急等全国百貨店にて展開。今夏、フランスでの展覧会に出展。

### ● 仕事内容について教えてください。

商品や広告デザインのほか、百貨店でのブランド展開をしながら、切り絵の更なる可能性を模索しています。最近では工芸宝飾としての切り絵制作のお仕事が増え、切り絵×漆×金箔という、工芸技術を組み合わせた特殊な創作を行っており、モダンアートの面白さと、伝統工芸技術の深さ、大切さを噛み締めながら、多くの方に知っていただけるよう工夫を重ねています(写真①、②、④)。



① 高等部のパイプオルガンモチーフの作品



② 切り絵制作の様子

### ● どのような小学部時代でしたか？

どちらかと言うと困ったさんで、先生方やお友達が手を焼く子どもでした(笑)。その頃は有り余るエネルギーの矛先がまだわからずに、やんちゃばかりしていたのかも

と、今は思います(写真③)。



③ 低学年の頃

### ● 具体的にやんちゃとは？

毎朝校内服に着替える時間には、先生に追いかけて、校庭を逃げ回っていた記憶があります。特に3、4年生の頃、半田先生にかみついて泣かせたことがあります。心の中ではごめんなさいとずっと反省しています！

### ● 小学部で一番楽しかったことは？

運動会で鼓笛隊をしたことと、軽井沢の夏期学校です。

### ● 今の道に進まれたきっかけは？

中学部在学中に消しゴムハンコを作っており、使っていた彫刻刀でお花の形を切ったのが始まりでした。その切り絵を見た担任の先生が、中国の伝統工芸「剪紙」を下さったり、所属していた放送部での放送ドラマにて手彫り字幕をたくさん作ったことで切り絵への関心が高まりました。また、芸術方面へ進むことに関して、応援して下さる方が周囲に多かったことも心強かったです。

### ● 今に繋がる小学部での学びについて教えてください。

とにかくのびのびと個性を表現させていただけたことや、何より毎日の礼拝の中で一同が気持ちを一つにする時間を持てたことが、今日の好奇心や共感する気持ちにつながっていったと思います。

この号の表紙はタンタンさんが小学部講堂のパイプオルガンをモチーフに製作して下さいました。



④ 「銀河鉄道の夜」「嘘の火」エピソードモチーフの作品



日本テレビ報道局経済部デスク  
鈴木あづささん  
(1987年小学部卒業)

### ● Profile

幼稚園から高等部まで東洋英和で過ごす。早稲田大学(第一文学部)在学中にオレゴン大学ジャーナリズム学部へ留学・卒業。帰国後、早稲田大学を卒業。日本テレビ入社。

### ● 仕事内容について教えてください。

入社後は報道局配属後、ニュース番組のADに始まり、警視庁や宮内庁などを担当。32歳で結婚後、中国特派員として北京に単身駐在しました(写真①)。帰国後は社会部デスク・原子力デスクを兼務しながら38歳で出産。復職後に「NNNドキュメント」プロデューサー、読売新聞の編集委員、「news every」デスクを経て、現在、経済部デスク兼財務省・内閣府を担当しています(写真②、③)。



① 天安門広場より中継



② 財務省で予算案について中継



③ 財務省のデスクにて

### ● どのような小学部時代でしたか？

柿原直子先生の理科実験クラブで天気図を読んだり、はんだ付けをしたり、様々なことを体験すると同時に、面白い本も紹介していただきました。図書室の司書でいらした野田先生も、「源氏物語」や「孤高の人」など、子どもには難解と思われるような本も躊躇なく薦めてくださり、大の読書好きに。その後演劇部に所属し、なぜか常に男役でしたが(笑)、脚本を読むのも好きになり、大学では劇団に所属しました。読書が世界を大きく広げてくれたと思っています。

### ● 小学部で一番楽しかったことは？

学芸会です(写真④)。大道具や小道具を作ったり、役どころや裏方など立場の別なく、それぞれの役割を全うして一つのものを作り上げていく作業は、まさに今のテレビの仕事と同じです。チーム熱演(中央赤紺セーター)ワークの基本を教わりました。



④ 学芸会での熱演(中央赤紺セーター)

### ● 今の道に進まれたきっかけは？

4年生の時、「はいからさんが通る」に憧れて新聞委員になり、自分の目で取材して、自分の切り口で記事を書く新聞作りの面白さに目覚め、将来は新聞記者になりたいと思うようになりました。また、様々な本に触れたことで、広い世界の隅々まで見てみたいと切望するようになり、留学し、特派員を志しました。

### ● 今に繋がる小学部での学びについて教えてください。

社会の光の当たらない場所に目を向けること、人知れず苦しんでいる人の声をすくい上げることの大切さを教えてくれたのが英和の教育でした。また、自分の目と耳で真実を見極めること、そして、世の中に対して「正しい怒り」を持つことを教わりました。それは今の報道という仕事に通底するものです。世の中がよくなるきっかけをお伝えするのが報道の使命ならば、その一助となり、少しでも思返しができればと思っています。